

1. 教科「奉仕」のねらい

- (1) 教科「奉仕」の意義について理解し、地域社会へ貢献する意識を高める。
- (2) 事前学習では、「奉仕」についての基本的な知識を学び、奉仕体験活動の準備学習を行う。
- (3) 体験活動では、いくつかのグループに分かれて校外で活動する。救急救命講習を受講し技術を身につける。
- (3) 事後学習では、奉仕体験活動を振り返って自己評価を行う。

2. 教科「奉仕」の授業の位置づけ

- (1) 「総合的な学習の時間」として週時程に位置づけて実施している。
- (2) 本校では1年次の「総合的な学習の時間」を「キャリアガイダンス（1単位）」と「奉仕（1単位）」で構成している。
- (3) 今年度は、1年次の「総合的な学習の時間」を「キャリア教育」の視点を踏まえて見直し、『この子たちの夢を3年後に叶えてあげようプロジェクト』としてリニューアルした。その中に「奉仕（1単位）」を組み込んでいる。
- (4) プロジェクト全体の方針は次のとおり。
 - ① INPUT & 共有・・・「自分の志向を考える」「やる気のある大人と出会い刺激を受ける」
 - ② OUTPUT & 協働・・・「誰かのために」「チームで協力して活動する」
- (5) 特に「奉仕」では、これまでの課題を解決するために、「ニーズのあるところで」「ニーズのあるときに」「ニーズのある活動を」させたいと考え、夏休みを中心に6時間分の活動を準備した。

3. 授業計画

	授 業 内 容	
1	「総合的な学習の時間」オリエンテーション	事前
2	夏休み奉仕体験活動オリエンテーション、地域のニーズ、活動目的 他 テーマ『夏休みは 地域で！社会人と！大学生と！』	事前
3	夏休み奉仕体験活動の選択、準備についての理解、企画	事前
4	夏休み奉仕体験活動に向けた準備の活動、確認作業	体験
5	夏休み奉仕体験活動	体験
6	夏休み奉仕体験活動のまとめ	事後
7	後期奉仕体験活動のオリエンテーション、講話、地域のニーズ 他 テーマ『防災』	事前
8	後期奉仕体験活動	体験
9	全体を通しての振り返り	事後

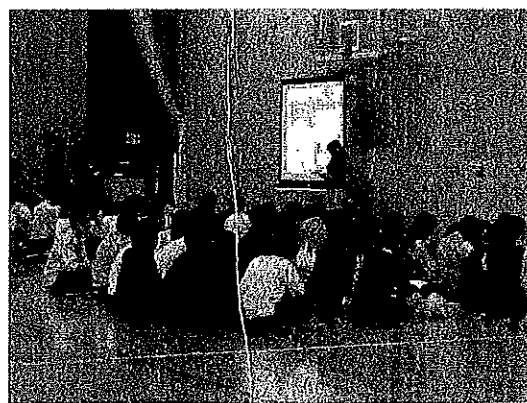
4. 支援アドバイザーと連携先

- ・村上哲也（支援アドバイザー）
- ・世田谷区ボランティア協会
- ・国際協力NGO「風の会」東京
- ・学生ボランティア企画集団「NUTS」
- ・NGO「今できること」
- ・NPO法人コモンビート
- ・ユニクロ
- ・地域の青少年委員
- ・成城消防署 他

5. 「夏休みは 地域で！社会人と！大学生と！」授業紹介

（1）事前学習（4時間）

- ①奉仕体験活動の意義を理解する。
- ②奉仕体験活動を受け入れる団体が、団体の活動の目的、活動内容、活動による地域や社会への効果・意義などを伝える。
- ③様々な奉仕体験活動の中から自分にあった活動先（活動内容）を選択する。
- ④夏休みの体験活動に向けた準備について理解するとともに、グループ活動の企画について話し合う。



「奉仕」についてのオリエンテーション 各団体が活動内容を説明してくれました

（2）体験活動（6時間）

*実際には6時間以上の活動もある

<体験活動先一覧>

	連 携 先	体 験 場 所	実 施 日	人 数	活 動 内 容 等
A	風の会	芦花高校	8月22日（月）	32	・カンボジア支援 ・壁新聞づくり
B	NUTS	新宿駅周辺	8月17日（水）	60	・スポーツゴミ拾い
C	今できること	渋谷駅周辺	7月27日（水） 7月29日（金）	25	・東日本大震災復興 のための募金活動

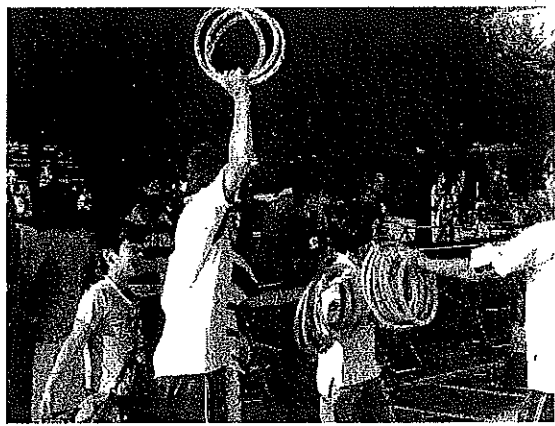
D	コモンビート	昭和女子大学 人見記念講堂	7月30日(土)	35	・ミュージカル(公演を支える)手伝い
E	ユニクロ	芦花高校	8月22日(月)	19	・古着の回収 ・ポスター制作
F	世田谷ボラン ティア協会	特別養護老人ホーム 「きたざわ苑」	8月26日(金)	13	・合唱演奏 ・高齢者との交流
G		ゆりかご保育園	7月25日(月) ～27日(水)	3	・保育士の手伝い ・園児との交流
H		芦花ゆりかご保育園	7月25日(月) ～27日(水)	4	
I		芦花保育園	8月3日(水) ・4日(木)	5	
J		給田保育園	8月4日(木) 8月18日(木) 8月25日(木)	5	
K		上祖師谷保育園 (パート①)	8月9日(火) ～11日(木)	6	
		上祖師谷保育園 (パート②)	8月23日(火) ～25日(木)	5	
L	そしがや 夏まつり	祖師谷小学校	7月17日(日)	10	・夏祭りの準備 ・ゲームコーナーの 手伝い
M	祖師谷 子どもまつり	祖師谷まちづ くりセンター	9月4日(日)	17	・子どもまつりの準備 ・模擬店等の手伝い

<体験活動の様子と生徒の感想、関係者からのコメントの紹介>

◎7月17日(日)「そしがや夏まつり」～地域の方々と～ 祖師谷小学校校庭にて



午前中は会場準備でした



輪投げコーナーの手伝いをしました

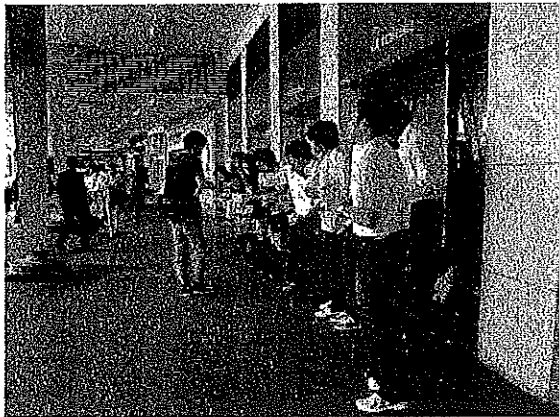
【生徒の感想等】（一部紹介）

- ・暑くて疲れたが、達成感があつた。
- ・また行きたいと思った。
- ・やりがいがあり、小学生とも交われたので良かった。

【地域の方から】

- ・高校生の皆さん、本当によく動いてくださり助かりました。

◎ 7月27日（水）・29日（金）「大震災募金活動」～大学生と～ 渋谷駅周辺にて

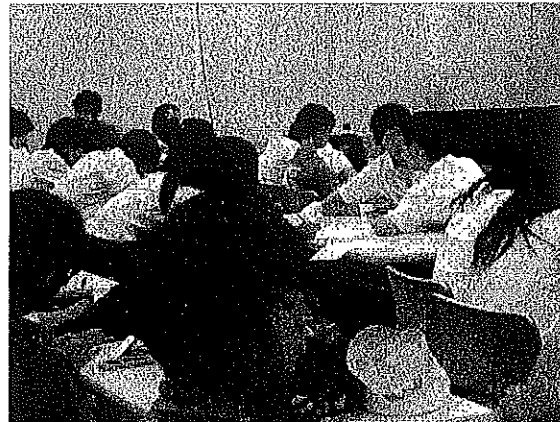


2つのグループに分かれて活動しました

【生徒の感想】（一部紹介）

- ・思ったことを一生懸命声に出せば、人の心を動かせると感じた。
- ・自分たちの思いが届いて2日間で167,644円、嬉しい！
- ・世の中の見方が変わった。思った以上に皆温かかった。
- ・震災に対する意識が変わった。復興に向け、自分に今でできることをしていきたい。

◎ 8月17日（水）「スポーツゴミ拾い」～大学生と～ 新宿駅周辺にて



ゴミは植え込みの中にも沢山ありました 終了後は大学生のリードでミーティング

【生徒の感想等】（一部紹介）

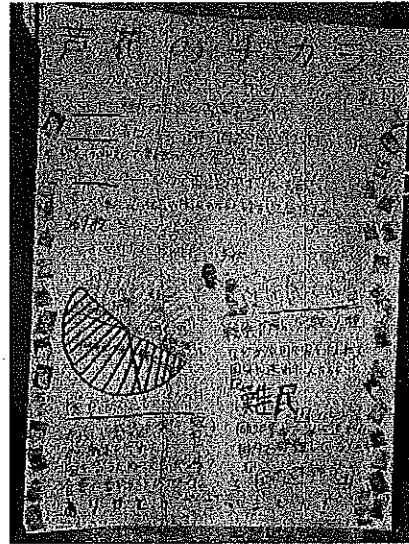
- ・タバコの吸殻が多かった。

- ・路上はきれいでも植込みには沢山のゴミがあった。
 - ・中身の入ったジュースやお弁当のゴミが多くてショックだった。
- 【大学生から】
- ・ゴミ量は 100kg でした。これまでの企画の中で一番の収穫でした。

◎ 8 月 2 2 日（月）「古着の回収」～ユニクロと～ 芦花高校にて



種類別に梱包しました



まとめを作成して掲示しました→

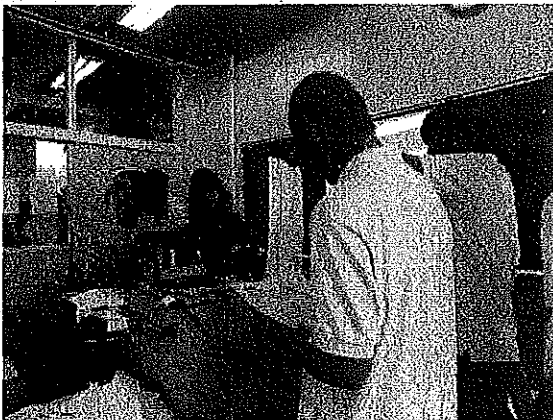
【生徒の感想等】（一部紹介）

- ・368 着も集まって良かった。
- ・服の仕分けは難しくなかったが、ポスター製作は悩んだ。
- ・外国へ思いが届くといいな。

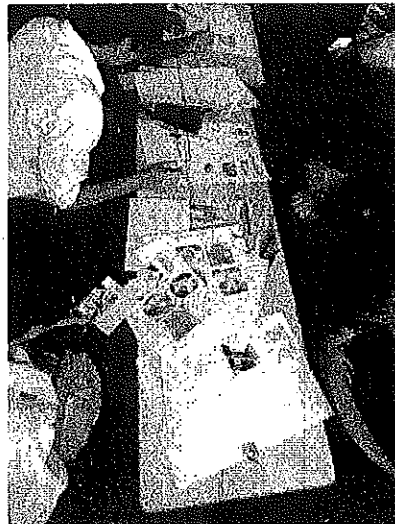
【企業 CSR 部の方から】

- ・期間が短かったが思ったより沢山集まり良かったです。
- ・企業のこういう活動も知っていただけると有り難い。

◎ 8 月 2 2 日（月）「カンボジア支援」～大学生と～ 芦花高校にて



カンボジアの方とテレビ電話で話をしました



カンボジアに送る壁新聞作り→

【生徒の感想等】（一部紹介）

- ・色々を知ることができ、カンボジアの印象が変わった。
- ・カンボジアの人と話すのは初めてで、すごく緊張した。
- ・日本のことも他国のことももっと知りたいと思った。
- ・英語、頑張ろうと思った。
- ・大学生の方々のおかげで、普段できない経験ができた。

◎ 8月26日（金）「お年寄りとの交流」～地域の福祉施設で～ きたざわ苑にて



利用者さんへ合唱をプレゼントしました

【生徒の感想等】（一部紹介）

- ・心配だったが、おじいちゃんおばあちゃんと会話ができて良かった。
- ・昔のおもしろい話も沢山聞けて楽しかった。
- ・合唱の発表は喜んでもらえたので良かった。
- ・涙を浮かべて「ありがとう」と言って下さって嬉しかった。

◎ 9月4日（日）「祖師谷子どもまつり」

～地域の方々と～

祖師谷まちづくりセンターにて



手作り品、制作中

模擬店の手伝いもしました

【生徒の感想等】（一部紹介）

- ・地域の人と一緒に一つのものをつくる喜びを味わった。
- ・子供から大人まで楽しんでもらえていることがとても嬉しかった。

【地域の方から】

・遊びに来ていた小学生が大人になりスタッフに加わって、皆で作る祭になっています。高校生の協力にも感謝しています。

(3) 事後学習 (2時間)

①夏休み奉仕体験活動を振り返り、体験の内容を共有する。

＊村上哲也支援アドバイザーからアドバイスもいただいた (次頁以降の資料)

②国際協力NGO「風の会」から、夏休み奉仕体験活動後のカンボジアでの活動報告と気仙沼での復興支援ボランティア活動の報告を聞き、後期のテーマ「防災」の導入とする。

6. 教科「奉仕」実施に関する担当者の振り返り

(1) オリエンテーションについて

①動機付けに時間をかけるべきだった。「奉仕」とは何?ということをもっと生徒に分かりやすく説明をし、理解させてから本題に入った方がよい。

②各団体のステージ前での生徒への説明はとてもよかった。個別になったときには聞こえにくいブースもあった。

③興味のあるところに行けたのはよかったが、事前に考える時間がもっと取れた方がよかった。

(2) 事前学習について

①外部団体との連携や機器・設備の段取り等で不十分な点が多かった。

②興味のあるところに決まった生徒は積極的だったが、中には文句ばかり言ってなかなか取り組まない生徒もいた。

(3) 体験活動準備の時間について

①考査後の忙しい時期で打ち合わせが十分にできなかった。生徒の動きや反応は良かったが、プリントだけでは活動担当の先生には分かりづらかった。

②活動先に挨拶に行ったのは、場所の確認だけではなく心構えの点でもよかった。

(4) 体験活動について

①いろいろな団体の協力を得て活動させてもらって、生徒たちの感想を読むと意義深いものだったと思う。

②需要のあるところで活動ができ生徒はとても歓迎されていたので良かった。

③連携先の大学生や関係者がいろいろ配慮してくれて、問題なく活動ができた。

④活動内容によって時間と労力に差異があった。不公平に感じたという先生もいた。

(5) 全体を通じて

①様々な反省があったが、今年度の課題が整理できれば、それなりに価値はある。

②初めての試みにも拘らず、盛り沢山すぎたように思う。係分担等も余裕がなく大変だった。

③生徒も教員も、特に部活動の関係で、調整から実際の参加、引率について、難しさがあったように思う。調整もなかなか大変だった。夏休みの活動は部活単位を基本として行わないとうまく回らないように思う。

<村上哲也支援アドバイザーからのアドバイス>

「風の会」カンボジア教育支援活動の感想

- ・自分の英語が相手に通じて自信を得ると同時に、もっと英語を勉強しようという意欲がわいた。

カンボジアの子どもも、日本の芦花高校の生徒からの英語を聞いて、もっと勉強して外国の言葉がわかることを勉強したいと思うはず。

勉強に一番大切な意欲を高める支援ができた。

「NUTS」スポーツゴミ拾いの感想

- ・疲れるだけでいやだったゴミ拾いも、仲間ができた、普段聞けない大学生の話が聞けて良かった。

楽しくゴミ拾いをしている高校生や大学生が街にいると、ゴミ拾いも格好いい。ゴミのポイ捨ては格好悪いと感じる人も増えたいはず。

ゴミを拾う人、捨てない人を増やす貢献ができた。

「NUTS」スポーツゴミ拾いの感想

- ・たばこや中身の残った生ゴミが多く、一人が捨てると釣られて捨てる人がいて、どんどん街が汚れてしまう。

街のゴミを拾う活動は、人の関心や目があると、いうメッセージを多くの人に伝える。ゴミが放棄される原因は、悪いところを人に教えることがよい。

街の美化だけでなく安全な街づくりにも貢献できた。

「NUTS」スポーツゴミ拾いの感想

- ・「まっいいか」でポイ捨てしてたことを反省して、これからはゴミ箱に捨てる。一緒に活動した大学生の心の純粋さを感じた。

街のゴミを拾っている高校生などに、心の純粋さを教えた人たちがたくさんいたはず。

街の多くの人にも心の純粋さを思い出さすきっかけを与えたという意味で社会の役に立てた。

「コモンビート」ミュージカル公演手伝いの感想

- ・「ありがとう、とてもよかったよ」と声をかけられて、少しの関わりから人の役に立つイベントの一員になった実感が持てた。

奉仕活動やボランティア活動では、お互いが「ありがとう」を伝え合う関係が大切。それで、その活動が楽しい気持ちになる。

「ありがとう」の気持ちが多くの人を元気づけたという意味で社会の役に立てた。

「今できること」大震災募金活動の感想

- ・多くの人の協力と励ましをもらい、募金も集まった。震災にたいする意識が変わり、自分に今できることをしていきたいと考えている。

被災者の方たちは、自分たちのことを心配して関心を持ってくれる人、協力してくれる人の存在に勇気づけられている。

お金と心を届けて被災地に貢献できた。

「今できること」大震災募金活動の感想

- ・ 恥ずかしかった人前で声を出すことも、楽しくできるようになり自分が変わった。体験を通して、被災地にパワーを贈ることができた。

被災地の人たちのことを思いやる気持ちが、自分の心の壁を崩してくれたし、多くの人がはじめて募金が多かった。

多くの人が被災地を再び思いやるきっかけをつくったという意味でも貢献できた。

「今できること」大震災募金活動の感想

- ・ 多くの人の協力と励ましに感動した。震災で親戚が亡くなったこともあり、協力してくれた方々に感謝の気持ちを伝えることができたと思う。

奉仕活動やボランティア活動では、誰かのつらさや悲しみを、自分のことと思う気持ちが原動力になる。

被災者に代わって感謝の気持ちを伝えたいという意味でも被災地の役に立てた。

「ユニクロ」衣料リサイクルの感想

- ・ たくさんの衣類が集まり、洋服1着でも難民の方たちの笑顔につながるので活動してよかった。アジアに難民が多いことに驚いた。

衣類が届けられる現地では、服1枚が多くの難民の方たちの食糧と同じ価値がある。

衣類の提供を通して、遠い国で苦しむ人たちの暮らしの改善と誇りを高めることができた。

きたざわ苑高齢者施設吹奏楽部訪問の感想

- ・ お年寄が演奏に涙を浮かべて「ありがとう」といってくれて泣きそうなほど嬉しかった。お年寄とふれあって、相手も喜んでくれて貴重な体験ができた。

奉仕活動やボランティア活動では、相手の喜びが自分の喜びになる。それが、お金のためではない活動の原動力になる。

自分の話を楽しんでもくれたことでお年寄も嬉しかったはずだという意味でも役に立てた。

きたざわ苑高齢者施設吹奏楽部訪問の感想

- ・ 事前の練習をして行った合奏に、「よかったよ」といってもらえた。これから人にも何かを伝える活動をしていきたい。

活動の準備も、好きなことであれば苦にならない。良い準備ができれば活動も成るものと、良い結果を生む。

自分たちの特技や好きで取り組んでいることを通して、社会の役に立てた。

保育園での活動の感想

- ・ 小物づくりは抵抗があったが、童心にかえり良い体験になった。園児に目線を合わせて話をして仲良く慣れた。一斉に話す園児たちに驚いた。

親や先生とは違う、大人と子どもとの間の「接点」から、そそり出せた。園児たちの笑顔があった。

高校生の特色を活かして保育園の役に立てた。

保育園での活動の感想

- ・お姉さん先生と呼ばれて、トイレや着替えを見せたがる子もいた。人見知りの子にも徐々に慣れてもらえた。水遊びや食事など、1人ひとりに目を向けて活動していた。

奉仕活動やボランティア活動では、たくさんの相手と活動していても、1人ひとりの個性や状況に合わせて活動することが大切。

きめ細やかな配慮ができたことで、忙しい先生たちの手助けができた。

保育園での活動の感想

- ・絵本の読み聞かせが難しく、つかえたところを子どもに指摘されて恥ずかしかったけれど、とても楽しかった。

絵本の読み聞かせは、訓練すればつかえなくなるけれど、短い文章の行間に込められた作者のいろいろな伝えたい想いを理解して子どもに伝えるには、普段の国語の勉強が大切。

学校の勉強を活かして子どもたちを喜ばすことができた。

保育園での活動の感想

- ・3才児を担当して、甘えたり、自分でやりたがったり、けんかしたりで目が話せなかった。日ごとに子どもと距離が縮まってとても嬉しかった。

奉仕活動やボランティア活動では、相手のことを何でもしてあげるのではなく、できないことを承知してできることは助言し、他がどうしているかを知る関わり方が大切。

見守り手助けしながらも子どもの自立を助ける関わりができた。

保育園での活動の感想

- ・工夫をしてリサイクルした材料で遊び道具をつくっていた。2才児の言葉にならない話しを理解していた保育士さんはすごいと思った。

奉仕活動やボランティア活動では、活動の現場で求められる様々な工夫や技術を日々観察して、理解することが大切。

自分たちの苦勞を理解してくれる高校生の姿勢が、保育士さんたちの自信や誇りを高めたという意味でも保育園の役に立てた。

祖師谷こどもまつりの感想

- ・子どもから大人まで楽しんでもらえ、とても嬉しかった。お店の店員として、子どもにかかわることもできたのでとても良かった。

地域の手伝いをしている高校生の姿を見た子どもたちは、自分たちも大きくなった地域に役立たいと思ったはず。

子どもたちに自分たちも地域の一員なのだと感じさせることができたという意味でも地域の役に立てた。

祖師谷こどもまつりの感想

- ・たくさんの小さな子どもや小学生たちが来て大変だったけれど、一生懸命活動した結果、達成感を得られて良かった。

普段、高校生と接する機会が少ない地域の人たちは、高校生が一生懸命活動する姿を見て、高校生を尊敬していたはず。

子どもから大人まで、高校生を含め、世代を超えた信頼が生まれたという意味でも地域の役に立てた。